

平成 24 年 5 月

岩手大学の国際連携戦略

国際連携担当理事・副学長 岩 淵 明

岩手大学では、急速に進むグローバル化に対応するための教育、研究、社会貢献の国際戦略を策定し、それに沿った国際交流・国際連携を進めてまいります。

対象期間： 2012（平成 24）年からの約 10 年間

〈ミッション〉

教育と研究を通じ、地域と世界との架け橋となり、地域と世界の持続可能な社会の実現に貢献する大学を目指す

〈目標〉

- 【教育】 国際社会を生きる市民としての自覚を持ち、地域の国際化のリーダーとなる人材を育成する
- 【研究】 岩手大学の特徴ある分野で世界をリードする研究を推進する
- 【社会貢献】 地域社会のグローバル化に対応する先導的取組を行う

〈国際連携戦略〉

1. グローバル化の意識を高めるキャンパス環境を整備する
2. 協定校の重点化を図り、留学生受入れと学生の海外派遣を促進する
3. 学生の国際的コミュニケーションスキルとしての外国語能力を向上させる
4. 教員の海外派遣を支援するとともに、岩手大学の特徴ある分野の研究を促進し、研究の質向上を推進する
5. 地域社会のグローバル化への対応に貢献する産学官民連携事業を実施する
6. 上記戦略を実現するためのハード、ソフト両面の整備を進める

〈上記戦略の実現のための方策〉

1. ① 学生と留学生の交流機会の拡大
② 多文化社会・国際理解の普及教育の実践
2. ① 留学生を呼び込む戦略の展開
② 留学生が安心して暮らせる体制の充実
③ 学生の海外協定校への交換留学など海外渡航支援

3. ① 教育組織再編を含む外国語教育の充実
② 多彩な外国語学習支援ツールの開発・普及
4. ① 大学の特徴のある研究を国際水準に引き上げるための支援の強化
② 教員の海外派遣の支援の充実
5. ① 国際的産学官連携事業の展開
② 留学生などグローバル人材の地域交流の推進
6. ① 留学生宿舎を含む国際交流施設の設置
② 戦略推進のための体制整備
③ 教職員の FD,SD の充実
④ 国際交流における危機管理体制の構築

〈得られる成果〉

1. 活発な国際交流を通じてキャンパス内に国際的な雰囲気が行き渡り、構成員が自らを国際社会の一員としての意識をもって行動できるようになる
2. 海外協定校を中心に交流が盛んになり、国際的ネットワークが構築される
3. グローバルな視野に立って思考し、世界との連携を通じて行動を起こし、地域と世界のかげはしとなる人材が育成される
4. 大学の国際的な知名度が高まり、国内外の優秀な人材が数多く集まるようになる
5. 国際社会のなかで地域が持続的に発展できる基盤が形成され、大学に対する地域の信頼が強まる

〈これらの成果を通じて獲得される大学の将来像〉

地域にあって国際化を先導する大学

これらの戦略に対して、今後具体的なアクションプランを策定し、実行していきます。